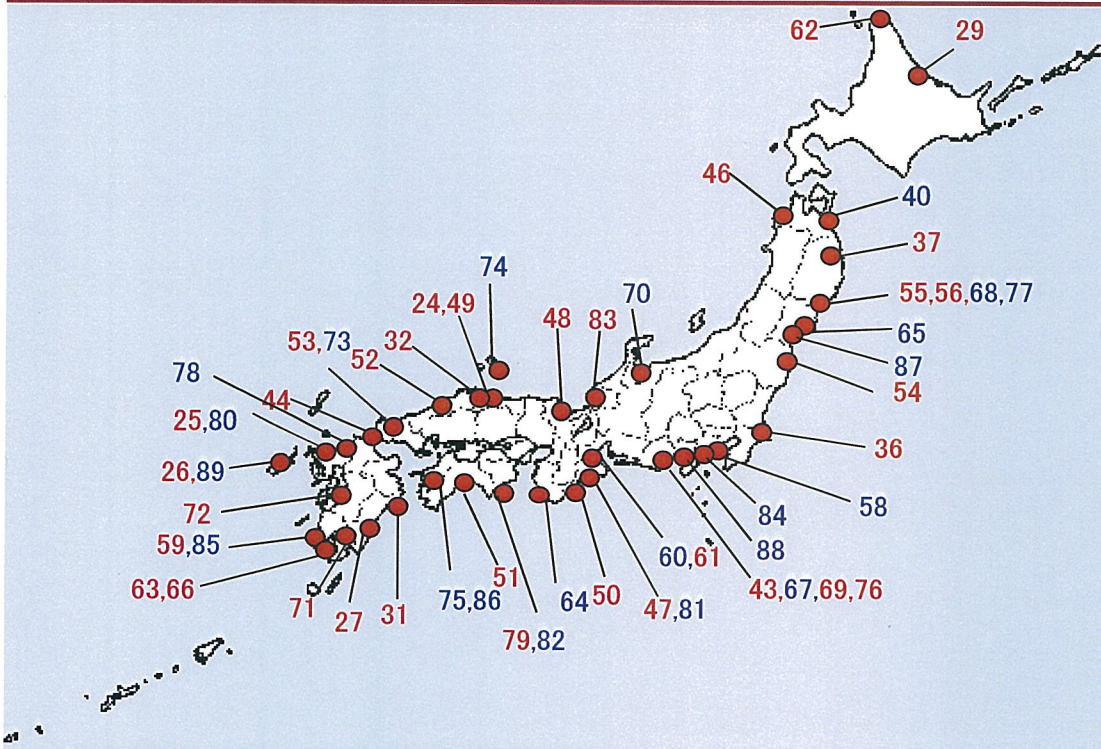


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —認定済み計画—

(H25年11月1日現在)



- 24 網代港(沖底): 省エネ、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 25 遠旋組合(大中まき): 2船団グループ操業化<23年4月~改革型>
- 26 五島中まき(奈留): 5船団でトータルコストの削減<22年6月~24年5月マイルト>
省エネ省コスト、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 27 近海かつお一本釣り(日南): 小型化(70t→19t)<23年4月~改革型>
- 29 紋別(小型機船底びき): 省エネ化、衛生管理<23年3月~改革型>、省エネ器機整備事業で実施
- 31 北浦(中まき): 6船団共同操業・共同運搬化<23年4月~改革型・マイルト>
- 32 賀露(沖底): 省エネ、船凍出荷<23年9月~改革型>
- 36 銚子(沖底②): 小型化(74t→19t)、船首ブリッジ導入<24年6月~改革型>
- 37 遠洋まぐろ延縄(宮古): 省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上<24年5月~改革型>
- 40 八戸(小底): コスト削減、鮮度向上<改革型>
- 43 遠洋まぐろ延縄(焼津): 省エネ、流通改善<24年4月~マイルト>
- 44 下関(沖底): 小型化(75→69t)、付加価値向上<24年4月~改革型>
- 46 深浦(沖底): 省エネ・小型化(50→19t)、衛生管理・付加価値向上等<25年9月~改革型>
- 47 三重外湾(中まき): 船団縮小(6→4隻)、ウォーターバックによる活魚輸送等<25年1月~改革型>
- 48 舞鶴(定置): 操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等<25年1月~改革型>
- 49 網代港(定置): 省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等<24年4月~改革型>
- 50 遠洋まぐろ延縄(尾鷲): 小型化・省エネ、アルコールスラリーアイス導入<24年6月~改革型>
- 51 遠洋まぐろ延縄(高知): 既存船の省燃費型への改修、船上加工<24年4月~マイルト>
- 52 浜田(沖底): リップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進<25年4月~マイルト>

- 53 萩(小型いか釣り): 共同探索・運搬等による操業の効率化<24年6月~マイルト>
- 54 遠洋まぐろ延縄(いわき): 省エネ、漁獲物処理の迅速化<H25.7~改革型>
- 55 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②): 省エネ、EU衛生基準に対応した設備<25.7~改革型>
- 56 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③): 導入省エネ、高付加価値化<25年3月~改革型>
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画): 燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等
- 58 遠洋まぐろ延縄(三崎): 船形の小型化、超深縄漁法の導入<改革型>
- 59 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野): 省エネ、次世代型冷凍システムの導入<25年9月~改革型>
- 60 遠洋まぐろ延縄(伊勢): 省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入<改革型>
- 61 遠洋まぐろ延縄(南伊勢): 針数削減等による効率的操業の導入<25年4月~マイルト>
- 62 北海道機船(稚内): 省エネ型漁船、活魚脱血処理等による高付加価値化<25.10~改革型>
- 63 枕崎(遠洋かつお一本釣り): 鯉節向けブライン鯉生産、燃油費削減<25年3月~マイルト>
- 64 紀伊水道(中まき): 2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9→7隻)<改革型>
- 65 石巻(大中まき/海まき): 単船操業、水揚数量の大幅縮減<改革型>
- 66 枕崎(海まき): 合弁事業、ブライン操業、大目網の導入<25年3月~マイルト>
- 67 遠洋まぐろ延縄(焼津): 冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減<改革型>
- 68 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④): パトックフロー船型、省エネ航行、高品質化<改革型>
- 69 遠洋かつお一本釣り(焼津②): 燃油削減、B-1製品の製造、付加価値向上<25年3月~マイルト>
- 70 全国遠洋まぐろ(富山): 操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上<改革型>
- 71 鹿児島(カンパチ養殖): 国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化<25年4月~改革型>
- 72 鹿児島(ブリ養殖): 国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船<25年3月~改革型>
- 73 はぎ(定置網): 新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等<改革型>
- 74 隠岐(中まき): 燃油消費量の削減、適量漁獲と活魚処理等<改革型>
- 75 宇和島(中まき): 船団縮小(5→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上<改革型>
- 76 遠洋まぐろ延縄(焼津②): メバチ・キハダロイン加工、ピンナゴドレス加工等<25.10~マイルト>
- 77 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑤): 主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等<改革型>
- 78 玄海(小型いか釣り): ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等<改革型>
- 79 近海まぐろ延縄(高知): 省エネ、高鮮度、漁場変更(中南海→南方)<25.10~マイルト>
- 80 遠旋組合(大中まき): 船団縮小(5→4隻)、2層甲板、ブライン凍結<改革型>
- 81 三重外湾(大中まき): 船団縮小(6→4.5隻)、活魚、窒素ナパブル高鮮度化<改革型>
- 82 近海まぐろ延縄(高知②): 省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更<改革型>
- 83 福井(沖底): 省エネ、揚網方法の改善、活魚化<25.10~改革型>
- 84 真鶴(定置): 網設置位置の適正化、新設計網の導入<改革型>
- 85 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②): 解凍硬直防止技術の確立、地元販売等<改革型>
- 86 下灘(真珠母貝養殖): 真珠母貝品種の絞り込み、共同養殖、母貝の大型化等<改革型>
- 87 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津): 共同化、温度帯変更、塩釜基地等<マイルト>
- 88 沼津(中まき): ミニ船団化、小型化、活魚生産等<改革型>
- 89 五島(中まき): 会社統合、ミニ船団化、活魚生産等<マイルト>

* 赤字: 操業実施、青数字: 今後操業予定

認定済み改革計画 89件(うち全体計画1件)

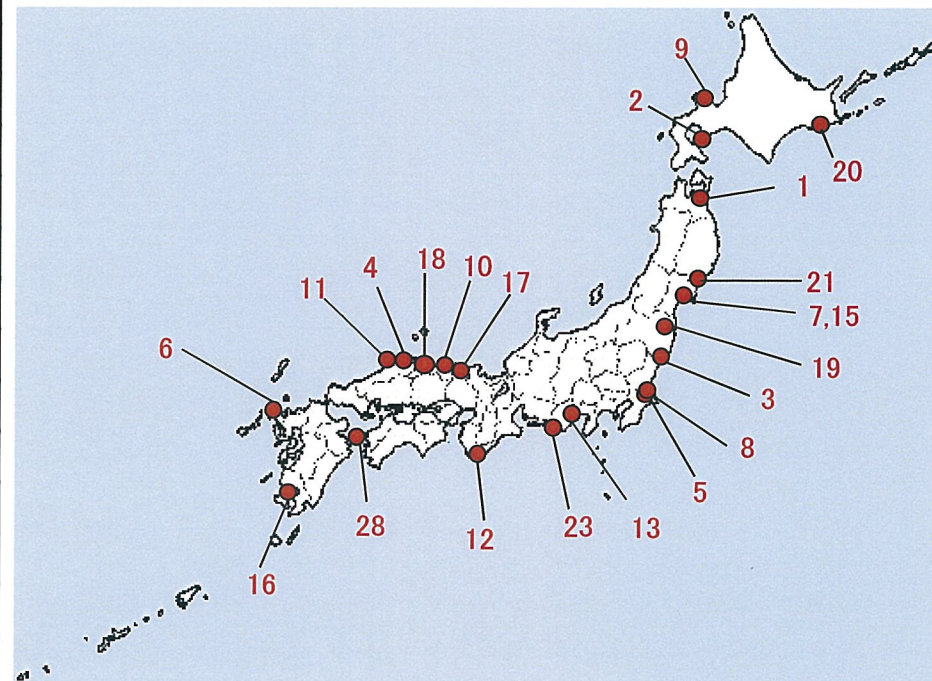
うち、実証中の計画 34件

実証を終了した計画(がんばる漁業への移行含む) 33件

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証を終了した計画—

(H25年11月1日現在)

No.	改革計画・漁業種類	コンセプト	取組型	事業期間
1	八戸(大中まき)	船団縮小(4→2隻)	改革型	H20.4~H23.3
2	北海道機船(室蘭)	省コスト共通船型、操業協同化	改革型	H20.9~H21.8 H21.9~H24.8
3	大津(大中まき)	船団縮小(4→3隻)	改革型	H20.10~H23.9
4	賀露(沖底)	省エネ型船型導入	改革型	H20.9~H23.8
5	銚子(沖底)	小型化(74t→19t)、協業化	改革型	H20.6~H23.5
6	遠旋組合(大中まき)	船団縮小(5→4隻)	改革型	H21.1~H24.1
7	石巻(大中まき)	単船化、省エネ省コスト化	改革型	H21.8~H24.7
8	波崎(大中まき)	船団縮小(4→2隻)	改革型	H21.8~H24.7
9	北海道機船(小樽)	生産体制の合理化	改革型	H22.2~H25.1
10	香住(べにずわい)	常設活魚艙導入	改革型	H20.9~H23.8
11	境港(べにずわい)	省エネ省コスト、高鮮度保持	改革型	H21.9~H24.8
12	紀伊水道(中まき)	船団縮小(9→7隻)	マイルド	H21.7~H23.6
13	静岡(大中まき)	船団縮小(6→5隻)	改革型	H23.1~H25.1
15	塩釜(遠洋底びき)	新規漁場(インドネシア)開発	マイルド	H21.8~H22.2
16	山川(海まき)	海外漁場(パプアニューギニア)の確保	マイルド	H21.11~H23.11
17	柴山(沖底)	耐候性漁船、高品質水揚げ	改革型	H21.9~H24.8 H22.9~H25.8
18	浜坂(沖底)	小型化(90t→65t)、省人化	改革型	H21.9~H24.8
19	小名浜(大中まき)	船団縮小(2ヶ統8→7隻)	マイルド	H21.10~H23.11
20	北海道機船(釧路)	船内1次加工等による高付加価値	改革型	H22.9~H25.8
21	気仙沼(近海まぐろ延縄)	省エネ省コスト、高鮮度保持	改革型	H22.8~H25.7 H22.10~H25.10
23	遠洋かつお一本釣り(焼津)	省エネ省コスト、高付加価値化	マイルド	H22.9~H24.8
28	真珠養殖業(愛媛)	越物真珠生産	改革型	H22.11~H25.3



計 22件

(このほか、がんばる漁業への移行計画11件)